

今回は以前から行きたいと思っていたトラピスト修道院へ行くチャンスがあったのでご紹介します。函館より車で40分程走ると素敵な並木道の坂のてっぺんに修道院が見えます。

到着後、休日は中を見るのが出来ない上、事前申し込みをしないと入れないと知り、驚きました。それ以上に驚いたのは、こちらが日本最初の男子修道院だそうです。もちろん現在も修道士達が生活しているそうです。今回、敷地内や建物を見学できなかったため、修道士の生活をj紹介している資料室を見学しました。駐車場へ戻る途中に『ルルドの洞窟・泉コトラ』と看板がありました。せっかくですのでこちらも見学しようと向かいました。残念ながら泉は数十年前に枯れて水は出ていませんでしたが、マリア様がいらっしゃいました。

修道院敷地内には売店もあり、トラピストバターとクッキーが販売されています。修道院で作られているそうで、お土産に購入しました。バターが非常に美味しく価格もお買い得です。ですのでお勧めです。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は岐阜県の駄知旧車館を紹介いたします。この旧車館は岐阜県土岐市の駄知町にあり、中根モータースという自動車販売店が運営しています。元々は中根モーターススタッフの飯金・塗装技術の研鑽を目的として、古い車を復元整備し始めたことが始まりのようです。

この旧車館に展示されている車は、中根モータースがフルレストアしたもので、すべて非売品だそうです。またレストアするとなると対象はスポーツカーに集中しがちですが、ここは『普通の車』を中心にレストアした車両を展示しています。

展示車両は、ベンツTYPE220、ボルボ122Sなどの輸入車や、スカイライン、いすゞ117クーペなどのスポーツカーもありますが、大半は生活に根付いていた普通の車が多いようです。ダイハツ・ミゼット、トヨタ・パブリカ、スバル360、マツダ・キャロルなど…。

時代を感じさせるレストアされた旧車を見に行くのは良いですが、開館日が不定期で月に1回程度です。行かれる方はホームページ等で確認してから行くことをお勧めします。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)



世界の拠点から
-From the base in the world-



梅雨時期ですが日川浜へ行ってきました。アローンですが、一人で動くのも結構好きな方なので、ソロキャンでもしたかったのですが、道具も揃ってなかったので、ちょっとデイしてきました。

天気の良い日であれば最高でしたが、くもり空で風も出ており、長袖でしたがウインドブレーカーが必要なくらいで、ちょっと早かったかなと。是非リベンジしたいと思います。近くにオートキャンプ場もあり、レンタルでもあればとも考えましたが、次回にとっておきました。

ちなみに、こちらは浜も波も良いのですが、風力発電の風車も見事で、建ち並ぶ姿は浜と太陽とセットであれば画になります。夕暮れ時か、晴天の日、波がキラキラと輝きまぶしい時に写真に残してみたいなど、また天気と相談しながら出直ししたいと思います。



東日本物流センター 東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)

今年の今頃にはコロナも落ち着いているだろうと思っておりましたが、中々収まらないですね。我が家もネット購入できる物はネット。食品などは近所のスーパーに買い物。基本は妻が1人で買い物するのですが、トイレトーパーなど大物がある時は私が1人で行ったりします。妻が買い物に行く際は、自転車行動範囲の3軒がメインでしたが、この内1軒が今年3月に閉店。

しかし昨年10月に関東のチェーン店『ロピア』尼崎店が出来ました。前評判も高く、はじめの1ヶ月は人混みが凄すぎて中々行けなかったのですが、行ってみると人気の理由が分かります。安い物も多いですが、A5ランクの肉や中トロなど良質な肉や魚のコスパパフォーマンスが高い。道を挟んで向かいにはイオンがあり、その隣にはコストコもありますがどこも駐車場はいっぱい埋み分けが出来ている様子。

土日はロピアの駐車場渋滞が発生。入庫に1時間、出庫にも1時間掛かる時があり、当面は自転車で行こうと思います。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

第四波の感染が広がっている中、今まで以上に気を付けないといけない日々が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回流行している変異株は感染力がとても強いようなので、くれぐれもご注意ください。もう少しの辛抱です。

こちらの福岡でも日々の感染者数は増えている状況の中、何をすることも出掛けづらい日々が続いているため、休日にもっぱら自宅で過ごすことが多くなりました。何もせずに家の中で過ごすことにも飽きており、何かしないと気がまぎれないと思い、始めたのが『作り置き料理』です。まずはYOO Tube先生でひたすら動画を見続け、簡単に作れそうなものをスマホのメモに入力していきます。その後はスーパーを2件はしごして、食材の購入。帰宅後は2~3時間かけて、当日の夕食も作りながら、8~10品目程度の作り置き料理をタッパーへ詰めて完了です。

作り置きを始めた当初はお肉メインの料理が多かったのですが、子供の意見も聞きながら、最近では魚や野菜、お肉も鶏むね肉の作り置きが多くなり、とてもヘルシーになりました。また、お弁当用の冷凍食品なども買わなくなり、家計の負担も減ったように思えます。半年後には私自身が痩せていることに期待したいと思います。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

私の一番下の子が大学2年生です。去年からコロナせいでずっとオンライン授業を受けていました。一年以上オンライン授業を受けてきて、先日久しぶりにオフライン授業が始まりました。週2回オフライン授業、その他はまだオンライン授業です。出席者もかなり制限され、自分の子が受けた際は10人しかいませんでした。他の人は、別日でスケジュールされています。

この1、2週間ジャカルタのコロナ感染者数は急に上がってきました。6月初旬は一日2200人ほどでしたが、中旬から一日4000~5000人に増え、最近は一日9000人以上と記録的な上がり方です。医療団体の意見によるとこれが変異種の影響だそうです。そのためインドネシア政府は、ワクチンの準備を急いでおり、一日100万人ぐらいを目標にしています。政府は区ごとにワクチン接種を行っていますが、住民たちは恐怖と不安からワクチン接種できるところにどんどん行っています。

大学はオフライン授業をやめ、またオンライン授業にすると発表をしました。オフライン授業の再開は未定だそうです。

評論家によると、現在のインドネシアはパンデミックのピークじゃないかと言われています。ワクチンが増え、近い将来減少傾向に向かうという期待がかなりあります。

KJI(インドネシア)(工場長: S.Akhyar)

～まさに弾丸並み～

浦東空港から龍陽路駅までの7分間の高速体験。中国へのご旅行で上海から市内までのリニアモーターカーで時速430kmを体験された方もおられるかも知れません。2006年に世界に先駆け商業運転を開始したりニアですが、最近ではコロナによる海外観光客激減の影響もあり、運航速度を300kmまで下げ、本数も減便、経営状況が不安視される面もあるようです。

しかし中国ではさらなる超高速リニアの実験が着々と進められているのです。四川省成都では高温超電導リニアモーターカーの開発が進行中で、先ごろ実験線も公開されました。カーボンファイバー製の軽量ボディ、抵抗の少ない車体形状、さらに高温超電導技術を利用した車両は最高時速620kmが可能だと言われています。

そして先日その上をいくニュースが。山西省で新たに超高速リニアの開発プロジェクトが発表されたのです。超高速低真空チューブ磁気浮上システム、マルチフィールドカップリング動力学技術を駆使した・・・なんだか書いてて意味が分かりませんが、要は真空チューブの中で車両を浮かし高速で突っ走るリニアなんだそうです。真空を走るため空気抵抗の大幅低減が可能となり構想ではその速度は時速1,000kmに達するのだとか。1秒で300m。まさに弾丸並みです。

開通したら是非乗車レポートをお届けしたいと思います。でも私の駐在期間中ではちょっと無理ですかね。

KHE(中国・蘇州)(総経理: 山本 博史)

日本からのニュースではオリンピックの開催に関して色々な意見が出ているようですね！先日IOCの委員が「オリンピック中止の選択肢は事実上すでに排除されている」とか「アルマゲドンが起こらない限り大会は成功するだろう」という発言もありましたが、今後この問題に関してどれだけ日本国民の意見が反映されるのか気になります。

アメリカではご存知の通りワクチン接種が進んでいて、既に成人人口の約50%が少なくとも1回は接種し、2回目の接種終了も40%近くになってきています。国全体で接種を促進しており、バイデン大統領はアメリカの独立記念日まで人口の70%を目指すとして発表しています。

最近では住民に対する接種の奨励策として、独自の特典を用意する州が相次いでいます。例えばニューヨーク州では12~17歳の子どもたちを

対象とした取り組みが進んでいて、接種した生徒の中から抽選で大学教育費用を全額支給する奨学金を提供。オハイオ州では、ワクチン接種した住民を対象に100万ドル(約1億1千万円)が抽選で当たるくじを始め、先日最初の当選者が誕生しました。ウエストバージニア州では16~35歳の接種者に100ドル相当を配布、メイン州では接種者に釣りや狩りの免許を交付するなどの取り組みが実施されています。

CDC(米疾病対策センター)は新型コロナウイルスのワクチンを接種済みであれば、野外ではマスク着用は不要だとする新たな指針を発表しました。ここカリフォルニアでも6月中旬にはソーシャルディスタンスの解除を予定しています。このまま状況が改善されれば、ようやく以前の生活を取り戻せるかもしれません。

KCS(アメリカ)(COO: 板垣 仁志)

自転車と車。どちらが道を譲るべきだと思いますか？

シンガポールでは、公道でなくてもロードサイクリングできる場所がたくさんあるので、幸運だと考えられています。しかし、それでもグループでロードサイクリングをするのが好きな人がいます。

政府は2列で並走することしか許可していないので、それほど自由に道路を走ることはできませんでした。サイクリストを管理する規制は他にもたくさんありますが、信号無視、適切な安全装備のないスピード違反などケースが増えています。サイクリストが、車やバイクのように免許制とすることで議論があります。他の道路利用者に害を及ぼすことなく、交通規制に従うことを余儀なくされるように。

まあ誰もが事故を避けるため、お互いを尊重しなければならないので、サイクリストに法を施行するのは良いことです。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

私はPSV(サッカークラブ)ファンです。2020/2021年シーズンに大きな期待を寄せていました。新しい監督、新規加入したスター選手、そして今年のアヤックス(ライバルクラブ)に対抗する若者の才能がありました。

シーズン前半は好調で、トップ常連のアヤックスにいくらか対抗できました。今シーズン、アヤックスが35回目のタイトルを手にはしましたが、PSVとAZの2位争いは熾烈になるでしょう。2位にはチャンピオンズリーグ参加をかけた予選ラウンドへの権利が与えられます。チャンピオンズリーグのトーナメントに参加すると、クラブに大きな利益をもたらします。

アヤックスには、プレイヤーに投資できる財団や優秀なユースアカデミーがあります。また、年俸の上限である100万ユーロを突破する好調な動きをみせました。これは、外国人プレイヤーがアヤックスに興味をもつことを意味します。

アヤックスが強力になりすぎて、他クラブと競ることが少なくなっています。しかしながら、9年連続でブンデスリーガを制したバイエルン・ミュンヘンのように、オランダのサッカーリーグがあまりにも予定調和にならないことを願っています。

PSVは、大規模な出資者と抵当権によって5,000万ユーロの強力な後押しを得ました。それでも4億3200万ユーロの企業価値を持つアヤックスのような裕福なクラブと競争することは難しいでしょう。

KIO(オランダ)(Marvin de Laat)